

## (株)インデコ・丸山前社長を偲んで

(株)インデコの創業者で代表取締役社長・会長だった丸山 徹さんが亡くなったとの知らせを伺って、一つの時代が終わったと感じました。

丸山さんはその名前が徹(トオル)であるところから、海外パートナーから、「テリー」と呼ばれており、私たちレーザー業界の日本人にも「テリーさん」という愛称で親しまれていました。私も丸山さんにテリーさんと呼びかけていたので、「テリーさん」の方が親近感があります。

テリーさんは専門商社「丸文」でレーザー輸入事業を立ち上げられて、担当取締役にもなられた、レーザー輸入業界のパイオニアでした。海外メーカーにも非常に多くの知人・友人をお持ちになり、まさにパートナーとしての交友を深めておられました。

そんな折に、レーザーを開発した日本電子のOBを含む関係者が新たにレーザー専門輸入商社を立ち上げようという話が出てきて、テリーさんも準備に携わっていました。その新会社の名前を「日本レーザーと名付けたのは俺だ」と会うといつも自慢されていました。

しかし設立直前に、新会社へ日本電子の影響力が強くなり、テリーさんはこの動きから離れ、丸文での事業に専念されました。個人株主10人で設立された日本レーザーの初代社長には日本電子の常務取締役開発部長の水間正一郎氏が就任しています。同社は3年後に日本電子の全額出資の子会社になっています。

一方、テリーさんは、その後丸文を退職されて、自分が望むような会社形態である、レーザー輸入専門商社、(株)インデコを設立され、海外パートナーからも出資を受け入れられています。インデコの意味は、インデペンデント(独立)とコラボレーション(協力)という理想の理念からきています。

その後は強いリーダーシップと同じく丸文から馳せ参じた高橋専務との二人三脚で同社をレーザー輸入業界のリーディングカンパニーに育てられました。とりわけ理科学分野では非常に強い営業力を展開されておられました。

私は日本電子から派遣された5人目の日本レーザーの社長ですが、テリーさんとのご厚誼をいただいて、今日があり、また業界の親睦団体で、今年25周年になる日本レーザー輸入振興協会の会長を長く務めさせていただいております。本来ならば、丸山さんこそ、初代会長であるべきだと思っています。現在は後継者の石川さんが理事に就任されており、業界でも丸山さんの思いを継承されておられます。

レーザー輸入業界の特徴の一つは、業界内での転職が多いことです。いわばレーザー輸入業界を一つの会社に見立てればその中で人事異動(?)をしているようなものです。とりわけ業界では歴史のある、丸文、日本レーザー、インデコからは多くの人財が輩出され、他社で活躍されています。日本レーザー出身の業界の社長が15人もいた時もありましたし、丸山さんのインデコからも多くの社員が日本レーザーに入社しております。

また、日本レーザー輸入振興協会は任意団体で業界の親睦の場ですが、扱っているレーザー製品は世界の市場で非常に激しい競争をしています。海外メーカーからはこうした団体があること自体不思議に思われているでしょう。他の業界に見られないこうした業界の雰囲気は、業界のパイオニアである、丸山さんの「インデペンデント(独立)とコラボレーション(協力)」という理想の理念からきているのではないかと感じています。

これまでの丸山さんとの交流やご指導に深く感謝しつつ、ここに謹んでご冥福をお祈り致します。「テリーさん有難うございました。」

合掌

(株)日本レーザー  
代表取締役社長 近藤宣之